

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

発行元:株式会社KCR総研 電話06-6965-6100

監修アナリスト 金田一 洋次郎

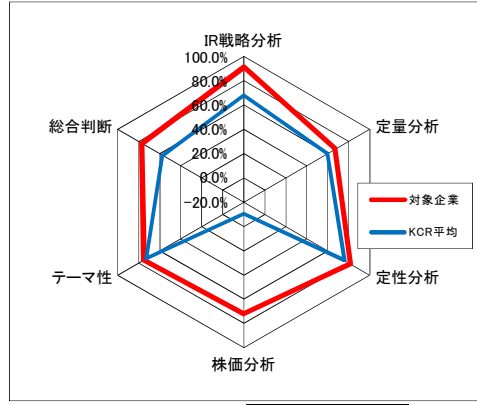
基本情報	発表日	郵便番号	住所	電話番号
	19/10/04	460-0003	名古屋市中区錦3-10-32	052-203-9500
	【設立年月】	1983/03	【業種】	小売業
	【代表者】	高橋 一穂	【生年月日】	1953年1月18日
	【優待】	有	【取引単位(株)】	100
	【配当利回】	4.6%	【開示責任者】	常務取締役管理部長 山内 一郎
	【優待利回】	-	【高値騰落率】	-49.8
	【実質利回】	4.6%	【安値騰落率】	28.5
			【時価総額(百万円)】	52,170
			【優待内容・中間配】	車検時利用優待券もしくはカタログギフト等、中間配当有
			【予想PER】	10.9
			【PBR(倍)】	1.39

事業内容
カーディラー専門。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

決算情報	決算期	売上高 (伸び率) (百万円)	経常利益 (伸び率) (百万円)	1株当たり 利益 (円)	1株当たり 配当金 (円)	売上高 経常 利益率
	16/03連	146,468	7,603	34.8	18.0	5.2%
	17/03連	169,560 15.8%	7,937 4.4%	37.6	17.0	4.7%
	18/03連	202,133 19.2%	7,173 -9.6%	32.0	18.0	3.5%
	19/03連	218,634 8.2%	6,385 -11.0%	22.8	20.0	2.9%
	今KCR予想	227,379 4.0%	8,186 28.2%	44.6	20.0	3.6%
	来KCR予想	250,117 10.0%	10,005 22.2%	53.4	20.0	4.0%

投資判断	総合判断レーティング		<p>1年株価チャート(出所:KCR総研 単位:円)</p>
	+2 BUY		
	★★★★		
	目標株価		
	670 円	現在株価	437 円

KCR総研はVTホールディングス(7593 東証1部)の総合判断レーティングを+2(BUY★★★★)とし投資判断を買い推奨(1年以内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄)を継続と発表する。総合判断レーティングの根拠として定量分析指数においては平均値を7.0%上回っており、定性分析指数において平均値を5.8%上回っている。株価は平均値より81.3%程度割安に推移しており、IR戦略は平均値を23.3%上回っている。またテーマ性においては平均値を2.0%上回っている。総合判断指数は平均を19.6%上回っていることから目標株価670円とする。



	IR戦略分析	定量分析	定性分析	株価分析	テーマ性	総合判断
対象企業	91.3%	67.0%	81.7%	72.0%	75.0%	77.0%
KCR平均	68.0%	60.0%	75.9%	-10.2%	73.0%	57.2%
差異	23.3%	7.0%	5.8%	82.2%	2.0%	19.8%

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株)

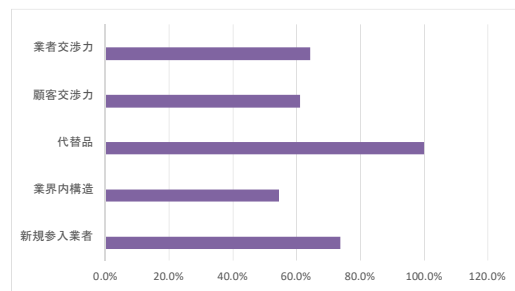
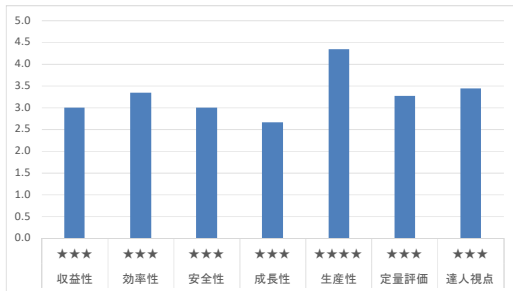
19/10/04

【コード】【業種】【市場】【決算】【主幹事】【現在株価】 437 円 【現在時価総額】 52,170 百万円
 7593 小売業 東証1部 3月 東海東京
 【事業内容】 カーディーラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

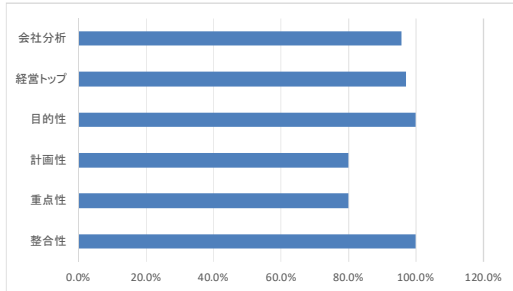
総合判断

+2 BUY

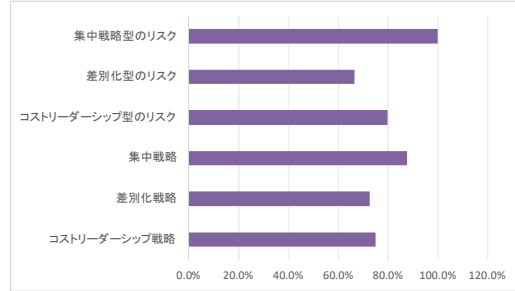
前回レーティング	+2 BUY
参考株価	590 円



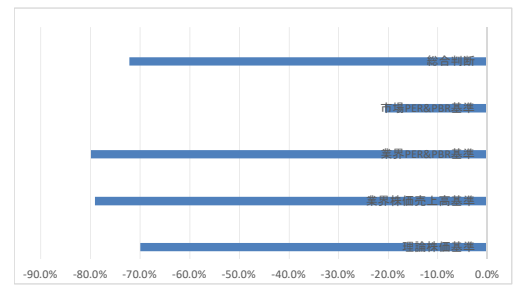
定量分析判断



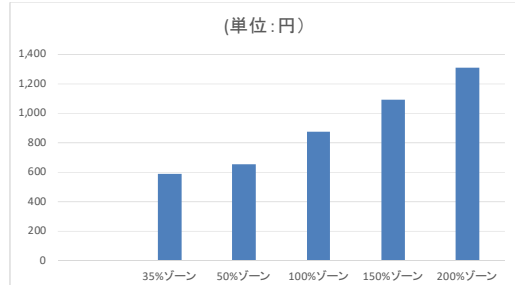
5フォース分析



戦略性チェック分析



戦略類型分析



株価分析判断

総合評価	チャートテーマ性
★★★★	★★★★
3.4	75.0%
評価指数	67.0%
定量分析判断	定性分析判断
収益性 3.0	81.7% ★★★★★
効率性 3.3	79.7% ★★★★★
安全性 3.0	73.8% ★★★★★
成長性 2.7	54.4% ★★★★★
生産性 4.3	100.0% ★★★★★
定量評価 3.3	61.1% ★★★★★
達人視点 3.4	64.3% ★★★★★

参考株価

4指標総合判断	総合評価指数
★★★★	77.0%
整合性 100.0%	75.0% ★★★★★
重点性 80.0%	72.7% ★★★★★
計画性 80.0%	87.5% ★★★★★
目的性 100.0%	80.0% ★★★★★
経営トップ 97.1%	66.7% ★★★★★
会社分析 95.8%	100.0% ★★★★★

理論株価基準	業界株価売上高基準	業界PER&PBR基準	市場PER&PBR基準	総合判断
★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★
-69.9%	-79.0%	-79.8%	-20.6%	-72.0%
参考株価 (単位:円)	35%ゾーン 590, 50%ゾーン 656, 100%ゾーン 874, 150%ゾーン 1,093, 200%ゾーン 1,311			
参考時価総額 (単位:百万円)	20%ゾーン 62,603.4, 50%ゾーン 78,254.3, 100%ゾーン 104,339.0, 200%ゾーン 156,508.5			

IR戦略分析

★★★★★	評点	評価指数
★★★★★	274	91.3%

Comments
 KCR-総合判断レーティングレポートとは、IR戦略分析、定量分析、定性分析、株価分析を解析し、全体的なスコア、バランス、株価チャート、テーマ性を考へ、総合評価指数を算定し、+1~+5までの5段階で最終判断する。カバーリング企業には、投資判断レポートにて目標株価を設定する。

※レーティングの見方

※レーティング有効期間:1年間

レーティング	総合評価指数	銘柄	レーティング
+1 Strong Buy	80%~100%~	1年以内に+20%以上のアウトパフォームが予想される銘柄	★★★★★
+2 Buy	60%~80%~	1年以内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄	★★★★
+3 Neutral	40%~60%~	1年以内に+10%~-10%の相対パフォーマンスが予想される銘柄	★★★
+4 Sell	20%~40%~	1年以内に-10%~のアンダーパフォームが予想される銘柄	★★
+5 Strong Sell	~0%~20%~	1年以内に-20%以上のアンダーパフォームが予想される銘柄	★

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(7593 東証1部)



レポート要旨

世界屈指のメガ・ディーラーを目標に成長。第1四半期連結決算は、利益額が過去最高を更新、KeePer技研を持分法傘下に入れ最終利益額底上げに貢献

○VTホールディングス株式会社は、愛知県に本社を置く自動車ディーラーの持株会社であり、2019年3月末現在連結子会社42社、持分法適用会社4社で構成されている。ディーラー事業は、ホンダ系ディーラー、日産系ディーラー、輸入車ディーラー、輸入車インポーター及び海外自動車ディーラーからなり、世界的自動車ディーラーとして、M&Aにより成長を続けている。M&Aを海外市場を含めて積極展開する姿勢を示しており、早期に連結売上高5000億円を達成したいと考えている。

○当第1四半期の連結売上収益は537億23百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は18億68百万円(前年同期比26.3%増)、税引前四半期利益は16億24百万円(前年同期比22.6%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9億61百万円(前年同期比12.1%増)となり、第1四半期連結決算としては、利益額は過去最高を更新した。

○2019年3月期第1四半期決算後のトピックスとして、2019年8月6日、光洋自動車株式会社とのM&Aを実施した。同社は、北海道北見市、旭川市、札幌市において、フォルクスワーゲンおよびアウディの正規自動車ディーラーとして、フォルクスワーゲン3店舗、アウディ2店舗を展開している。また、9月20日にカーコーティング、洗車用ケミカルと機器等の開発・製造・販売を行う東証1部上場のKeePer技研株式会社との資本業務提携(持分法適用関連会社化)を発表。約20%の株式を取得し、最終利益の底上げに貢献する見通しである。

○成長のためのビジネスモデルには、三つの戦略がある。一つは、積極的に展開するM&A戦略、二つ目は、高い基盤収益カバー率、三つ目がストック型ビジネスモデルである。収益面では、新車販売よりサービス部門を重視しており、全体粗利益額の約4割を占めている。シェアリングサービスに対する参入は、レンタカー事業を核にして行う。レンタカー事業は拡大傾向を示しており、粗利益率も約4割と高いのが特徴である。

○今期の見通しについては、国内自動車販売市場は、消費税増税前の一時的な駆け込み需要が期待される一方、増税後は更なる市場の縮小も懸念されるなど、予断を許さない局面が続くものと予想しており、従来にも増して、新車販売の拡充、CSの改善、中古車やサービス部門等の基盤収益の一層の向上に取り組み、M&Aによる事業拡大に努めていく。2020年3月期の連結業績の見通しについては、売上高2,250億円、営業利益83億円、税引前利益80億円、親会社の所有者に帰属する当期利益47億円を見込む。2020年3月期の連結業績予想は、従来の日本会計基準に替えて、IFRSで算出している。

○株主還元には積極的である。配当性向40%が目標。4%を超える高い配当利回りに加え、自社株買いも積極的に行う見通し。株主優待制度も実施している。

○KCR総研では、世界的メガ・ディーラーを目指して着実に成長すると見込んでいる。VTホールディングスの総合判断レーティングを+2(BUY)とし、投資判断を買い推奨を継続と発表し、目標株価を670円とする。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本試料の金融商品について当社や関連会社、及びその従業員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(7593 東証1部)



会社概要と沿革

世界的自動車ディーラーとして、M&Aにより成長を続ける

VTホールディングス株式会社は、愛知県に本社を置く自動車ディーラーの持株会社であり、2019年3月末現在連結子会社42社、持分法適用会社4社で構成されている。ディーラー事業は、ホンダ系ディーラー、日産系ディーラー、輸入車ディーラー、輸入車インポーター及び海外自動車ディーラーからなり、主に新車・中古車の販売及び自動車の修理を実施している。自動車販売関連事業の売上構成比は、95%であり、その他に住宅関連事業(売上構成比5%)を展開している。

同社の主力の成長戦略はM&Aである。自動車販売関連事業は、新車部門、中古車部門、サービス部門、レンタカー部門、輸出部門に分かれており、国内M&Aによる事業拡大に加え、最近では海外M&Aを積極的に展開しており、イギリス、スペイン、オーストラリア、南アフリカなどでの海外売上高比率を38.15%まで伸ばしている。

自動車ディーラー業以外では、連結子会社として中古車輸出のトラスト(3347 東証2部上場)を展開するほか、トラストの子会社としてJ-netレンタリースにてレンタカー事業を展開。また、東海地区を中心に分譲マンションを展開するエムジーホーム(8891 東証2部上場)等を傘下に収めている。

特長と強み

3つの戦略ビジネスモデル

VTホールディングスの成長のためのビジネスモデルには、大きく三つの戦略がある。一つは、上場以来、積極的に展開するM&A戦略。二つ目は、高い基盤収益カバー率、三つ目がストック型ビジネスモデルである。これら3つ戦略により高い成長と安定収益の実現をスピード感を持って達成することを目標としている。

同社の成長の源は、M&A戦略である。近年は、海外のカーディーラーを積極的に買収し、利益体質を改善することで業績を伸ばしている。

買収した企業を収益化するスピードにも特長がある。基盤収益カバー率とは、新車以外の粗利益 ÷ 販管費で示され、新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標であり、100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならないことを示している。2018年3月期は主要ディーラー平均で96.0%(主要6社でグループ全体の売上の約45%を占める)になったが、メンテパックの売上が売り時一括計上から、サービスの都度計上になったことなどの影響で、実態は、ほぼ100%をキープしている。

サービス部門の収益向上により、新車販売台数ではなく保有台数を収益源とするストック型ビジネスモデルを展開している。

VTホールディングス(7593 東証1部)



直近業績

第1四半期連結決算は、利益額が過去最高を更新！

2020年3月期第1四半期連結会計期間の国内新車販売台数は、登録車、届出車ともに堅調に推移し、前期比2.8%のプラスとなった。中核事業である自動車販売関連事業は、ホンダ系の新型車効果や日産系のe-POWER搭載車や電気自動車に加え、新型軽自動車も堅調に推移したこともあり、国内販売は比較的好調に推移した。海外では、主に欧州の子会社が昨年度後半からWLTP(国際調和排出ガス・燃費試験法)による影響を受け、新車、中古車を合わせた当社グループの自動車販売台数は、24,670台と前年同期に比べ533台(2.1%)減少した。住宅関連事業は、分譲物件の受注、引き渡しともに好調だった。

当第1四半期の連結売上収益は537億23百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は18億68百万円(前年同期比26.3%増)、税引前四半期利益は16億24百万円(前年同期比22.6%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9億61百万円(前年同期比12.1%増)となり、第1四半期連結決算としては、利益額は過去最高を更新した。自動車販売関連事業の売上収益は501億13百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は14億円(前年同期比1.5%増)となった。自動車販売関連事業の新車部門は、海外を含む当社グループ全体の自動車販売台数は、11,523台(前年同期比3.5%増)と台数ベースで前年を上回ったが、軽自動車の比率が増加したこと、販売台数増加を第一優先とした販売に傾注したため新車の台当たり利益が減少し、若干の減収減益となった。中古車部門では、当社グループ全体の中古車販売台数は、13,147台(前年同期比6.5%減)と台数ベースでは前年を下回り、減収減益となった。サービス部門は、既存会社、新規連結子会社ともに点検・車検、修理、手数料収入等の受注拡大に注力したが、若干の減収得減益となった。レンタカー部門は、前連結会計年度に新規出店した店舗と既存店の稼働が堅調に推移し、増収増益となった。住宅関連事業の売上収益は35億62百万円(前年同期比549.9%増)、営業利益は3億53百万円(前年同期は66百万円の営業損失)となった。

今後の見通し

会社計画は増収増益、IFRS移行を予定、KeePer技研を持分法傘下に入れ最終利益額底上げに貢献

2019年3月期第1四半期決算後のトピックスとして、2019年8月6日、光洋自動車株式会社のM&Aを実施した。同社は、北海道北見市、旭川市、札幌市において、フォルクスワーゲンおよびアウディの正規自動車ディーラーとして、フォルクスワーゲン3店舗、アウディ2店舗を展開している。また、9月20日にカーコーティング、洗車用ケミカルと機器等の開発・製造・販売を行う東証1部上場のKeePer技研株式会社との資本業務提携(持分法適用関連会社化)を発表。約20%の株式を取得し、最終利益の底上げに貢献する見通しである。

今期の見通しについては、国内自動車販売市場は、消費税再増税前の一時的な駆け込み需要が期待される一方、再増税後は更なる市場の縮小も懸念されるなど、予断を許さない局面が続くものと予想しており、従来にも増して、新車販売の拡充、CSの改善、中古車やサービス部門等の基盤収益の一層の向上に取り組み、M&Aによる事業拡大に努めていく。2020年3月期の連結業績の見通しについては、売上高2,250億円、営業利益83億円、税引前利益80億円、親会社の所有者に帰属する当期利益47億円を見込む。2020年3月期の連結業績予想は、従来の日本会計基準に替えて、IFRSで算出している。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりませんが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本試料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(7593 東証1部)



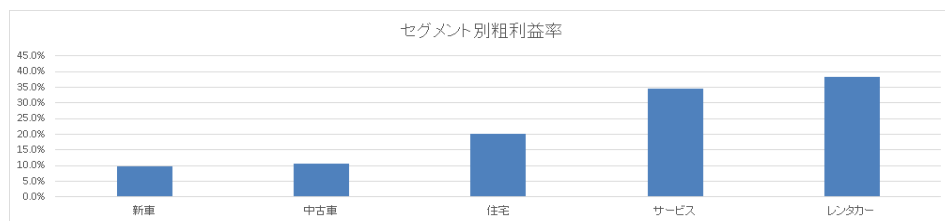
市場環境

収益性高いサービス部門に注力。カーシェアリングサービス見据えレンタカー事業に注力。

VTホールディングスの基本戦略は、継続的M&Aによる拡大、近年は海外のカーディーラーも積極的に買収し国内、海外ともに利益体質を改善することで業績を伸ばしている。また、国内外子会社において、可能な限り出店戦略を促し、売上成長も追及している。

全国の新車・中古車登録台数は、新車・中古車ともに長期的には、減少傾向にあるが、全国自動車保有台数は、車輛の保有年数の長期化などにより、僅かながら増加傾向(2001年以降、18%増)にある。VTホールディングスにとっては、利益率が高いのはサービス部門であり、取り扱い車数を増やしてサービス収益を上げていくことが全体の収益を底上げすることになる。

また、近年、車は、所有するものではなく利用するものというMaaS(マース: Mobility as a Service)という概念が自動車業界を席巻している。車を所有せず、使いたいときだけお金を払って利用するサービスが成長してきており、カーシェアリングなどの勢いが増している。VTホールディングスにおいては、孫会社であるJ-netレンタリースにてレンタカー事業を中核にシェアリング市場への参入を画策しており、将来的にレンタカー事業とカーシェアリング事業は融合してくるのではないかと睨んでいる。レンタカー拠点は、約140、自動車ディーラー151店舗あり、レンタカーは、24時間営業のところもある。夜中の時間帯はスマホで貸し出しできるところからスタートしようと思っている。



【図表1 出所:VTホールディングス資料よりKCR総研作成】

中期経営計画

連結売上高5000億円を視野に成長を目指す

VTホールディングスは、中期経営計画を発表していない。これは、M&A戦略で成長するビジネスモデルであるため、不確定要素が大きいためである。しかし、M&Aを海外市場を含めて積極展開する姿勢を示しており、早期に連結売上高5000億円を達成したいと考えている。

近年においては、毎年何らかのM&Aを実施している。また、同時並行して、高い収益効率を目指し、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指すことを経営目標としている。

経営陣

上場以来、売上高は31倍に成長

VTホールディングスの現代表取締役であり創業者である高橋一穂氏は、1953年1月18日生まれである。1972年、愛知日野自動車株式会社に入社し、1978年に独立して中古車販売会社を起業した。1983年に同社を設立し、社長に就任し、自動車ディーラー事業に参入。1998年上場以降は、積極的M&Aで業容を拡大しており、売上高は、上場時の31倍に成長した。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりませんが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(7593 東証1部)

IR戦略分析
株主還元**配当性向40%以上、年間20円を見込む**

VTホールディングスのIR活動は、5段階評価でIRオフライン充実度5、IRオンライン充実度5、IRツール充実度3、IRフェアディスクロ度5であり、IR経営戦略度5、総合評点91.3%、274ポイントと判断される。(19ページ参照:KCR-IR戦略分析レポート)

同水準は、極めて高いレベルでIR活動を実施しているということであり、株主・投資家を重視している表れといえる。

株主還元にも積極的に取り組んでおり、引き続き連結配当性向40%以上を目的に継続的かつ安定的な配当を実施する予定である。2020年3月期は普通配当で1株当たり年間20円を予定している。

定量分析

従業員一人当たりの生産性が高い

VTホールディングスは、自動車ディーラー専門企業であるが、M&A戦略で成長するというビジネスモデルから、同様にM&A戦略を成長モデルに掲げる企業と財務面、株価面を比較分析することが望ましいと思われる。KCR総研では、VTホールディングスの財務分析を実施するにあたり、自動車関連業界である(株)IDOM(7599 東証1部)、日本電産株式会社(6594 東証1部)、株式会社コロワイド(7616 東証1部)を選択し3社平均で比較した。VTホールディングスは、生産性が高いことが大きな特長である。(10ページ参照:KCR-定量分析レポート)

定性分析

参入障壁が高く極めて高い戦略レベルを持つ

自動車ディーラー業界は、メーカーと違い技術革新のリスクにさらされず、将来、決して無くない業界である。マイケル・ポーターの競争理論に基づくKCR総研独自のスコアリングにおいては、5フォース分析において、業界環境分析65.1%と平均的水準である。また、戦略型分析においては78.4%とかなり高い水準となっている。ビジネスモデルにおける将来リスクは、82.2%と極めて低いリスク水準であり、定性総合判断81.7%と極めて高い戦略レベルと判断している。(9ページ参照:KCR-定性分析レポート)

株価分析

理論株価の総合評価は、1,562円

KCR総研の株価分析による理論株価算定においては、類似会社比準方式による平均値で1,617円と理論値を下回っていて割安な水準、全理論株価平均でも1,452円と割安な状況にある。類似企業の売上高倍率平均比較では2083円と割安、EPS・PBR平均比較では2,174円と割安、市場とのEPS・PBR平均比較では550円と割安、4平均総合評価は1,562円と割安の水準と分析され、現状株価437円は、割安な水準といえる。(8ページ参照:KCR-株価分析レポート)

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

売買管理番号 7593SB191004

株価総合判断

理論株価基準	業界株価売上高基準	業界PER&PBR基準	市場PER&PBR基準	★★★★★
★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★

算定結果	乖離率		直近株価	19/10/04	437 円
類似会社比準方式	1,617 円	-73.0%	株価収益率		11.10 倍
簿価純資産価額方式	314 円	39.3%	株価純資産倍率		1.39 倍
収益還元方式	3,245 円	-86.5%	予想株価収益率(JQ)		17.75 倍
売上高倍率方式	2,083 円	-79.0%	類似企業平均株価収益率		81.54 倍
DCF方式	- 円	-	株価純資産倍率(JQ)		1.28 倍
全理論株価平均	1,452 円	-69.9%	類似企業平均株価純資産倍率		3.55 倍
		KCR平均	予想株式益利回り		7.14 %
		-4.30%	予想平均配当利回り(JQ)		1.90 %

前提条件 (単位:百万円)	前々々期 実績	前々期 実績	前期 実績	今期KCR 予想	来期KCR 予想	来々期KCR 予想
売上高	169,560	202,133	218,634	227,379	250,117	287,635
経常利益	7,937	7,173	6,385	8,186	10,005	11,793
当期純利益	4,421	3,765	2,674	5,321	6,503	7,901
営業活動によるCF	11,017	13,189	13,654	10,000	12,000	13,000
投資活動によるCF	-13,103	-6,713	-6,220	-8,000	-9,000	-10,000

VTホールディングス(株)			類似競合3社	
売上高	225,000 百万円	今期予想	日本電産(株)	(6594 東証1部)連結
経常利益	8,000 百万円	今期予想	(株)IDOM	(7599 東証1部)連結
当期純利益	4,700 百万円	今期予想	(株)コロワイド	(7616 東証1部)連結
自己資本	37,455 百万円	直近値		
発行済株式数	119,381,034 株	直近値		
株価	437 円	直近値		
時価総額	52,170 百万円	直近値		
1株当売上高	1,885 円	類似企業平均時価総額	1,474,864 百万円	乖離率
1株当当期純利益	39 円	類似企業株価売上高倍率	1.11 倍	-96.5%
1株当純資産	314 円	算定値(※KCR平均-6.6%)	2,083 円	-79.0%
株価売上高倍率	0.23 倍	EPS×類似企業平均	3,210 円	-86.4%
株価収益率	11.10 倍	PBR×類似企業平均	1,113 円	-60.7%
株価純資産倍率	1.39 倍	類似企業全平均(※KCR平均18.9%)	2,162 円	-79.8%
株価益利回り	9.01%	EPS×市場平均	699 円	-37.5%
		BPS×市場平均	402 円	8.8%
		市場全平均(※KCR平均16.9%)	550 円	-20.6%
		4平均(※KCR平均-10.2%)	1,562 円	-72.0%

日本電産(株)		A		(株)IDOM		B	
売上高	1,650,000 百万円	今期予想	売上高	324,000 百万円	今期予想	今期予想	今期予想
税前利益	170,000 百万円	今期予想	経常利益	2,200 百万円	今期予想	今期予想	今期予想
当期純利益	135,000 百万円	今期予想	当期純利益	420 百万円	今期予想	今期予想	今期予想
自己資本	949,709 百万円	今期予想	自己資本	39,215 百万円	今期予想	今期予想	今期予想
発行済株式数	298,142,234 株	直近値	発行済株式数	106,888,000 株	直近値	直近値	直近値
株価	14,150 円	直近値	株価	459 円	直近値	直近値	直近値
時価総額	4,218,713 百万円	直近値	時価総額	49,062 百万円	直近値	直近値	直近値
1株当売上高	5,534 円		1株当売上高	3,031 円			
1株当当期純利益	453 円		1株当当期純利益	4 円			
1株当純資産	3,185 円		1株当純資産	367 円			
株価売上高倍率	2.56 倍		株価売上高倍率	0.15 倍			
株価収益率	31.25 倍		株価収益率	116.81 倍			
株価純資産倍率	4.44 倍		株価純資産倍率	1.25 倍			
株価益利回り	3.20%		株価益利回り	0.86%			

(株)コロワイド		C		類似会社比準方式						
売上高	257,993 百万円	今期予想	KCR-株価分析レポートは、KCR業績予想に基づく類似会社比準方式、簿価純資産方式、収益還元方式、売上高倍率方式、ディスカウントキャッシュフロー方式の5つの理論株価総合平均に加え市場及び業界のPER、PBRを加味した理論値からの乖離率によって企業の株価の割高、割安度を格付するレポートでありマイナス乖離ほど割安企業であることを示している。							
経常利益	5,167 百万円	今期予想								
当期純利益	1,624 百万円	今期予想								
自己資本	31,665 百万円	今期予想								
発行済株式数	75,284,041 株	直近値								
株価	2,083 円	直近値								
時価総額	156,817 百万円	直近値								
1株当売上高	3,427 円		平均株価	5,564	平均EPS	159.4	平均BPS	1,324	算定価格	1,346
1株当当期純利益	22 円		A	B	C	7,305	228.4	1,776	1,275	
1株当純資産	421 円		A	B	C	8,117	237.2	1,803	1,380	
株価売上高倍率	0.61 倍			B	C	1,271	13	394	2,469	
株価収益率	96.56 倍									
株価純資産倍率	4.95 倍									
株価益利回り	1.04%									

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

★の見方	★★★★★	かなり割安
	★★★★	割安
	★★★	標準
	★★	割高
	★	かなり割高

VTホールディングス(株)

定性総合判断

【コード】 7593 【業種】 小売業 【市場】 東証1部 【決算】 3月 【代表者】 高橋 一穂

★★★★★

【事業内容】 カーディーラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

総合判断	81.7%	★★★★★	整合性	100.0%	★★★★★	コストリーダーシップ戦略	75.0%	★★★★★
戦略判断	79.7%	★★★★★	重点性	80.0%	★★★★★	差別化戦略	72.7%	★★★★★
新規参入業者	73.8%	★★★★★	計画性	80.0%	★★★★★	集中戦略	87.5%	★★★★★
業界内構造	54.4%	★★★★★	目的性	100.0%	★★★★★	コストリーダーシップ型のリスク	80.0%	★★★★★
代替品	100.0%	★★★★★	経営トップ	97.1%	★★★★★	差別化型のリスク	66.7%	★★★★★
顧客交渉力	61.1%	★★★★★	会社分析	95.8%	★★★★★	集中戦略型のリスク	100.0%	★★★★★
業者交渉力	64.3%	★★★★★						

■ファイブフォース分析	業界の競争要因・企業体質を見極める		■戦略類型分析	戦略型を確認するとともにバランスを見極める			
業界環境分析	65.1%	KCR平均	64.0%	戦略型分析	78.4%	KCR平均	78.9%

対象セクター 自動車ディーラー業界

新規参入業者	規模の経済性	10		
	製品の差別化	0		
	巨額の投資	5		
	調達先変更のコスト	10		
	流通チャネルの確保	10		
業界内構造	規模以外のコスト面での優位性	4		
	官の規制	10		
	強い報復活動	10		
	小計	80	74%	59
	同業者・同規模会社の数	10		
代替品	成長スピード	5		
	固定・在庫コストの規模	10		
	差別化	0		
	顧客の定着化	10		
	供給能力の拡大	5		
顧客交渉力	異質な戦略	0		
	戦略結果の果実	5		
	撤退障壁	4		
	小計	90	54%	49
	高収益企業の存在	10		
業者交渉力	同機能低価格の可能性	10		
	小計	20	100%	20
	顧客の力	10		
	顧客の数	10		
	顧客コストの割合	0		
小計	差別化	5		
	スイッチングコスト	0		
	裕幅	5		
	川上統合可能性	10		
	必要性	10		
合計	情報量	5		
	小計	90	61%	55
	寡占化	5		
	代替・変革可能性	10		
	顧客重要度	10		
合計	必要性	0		
	差別化	5		
	スイッチングコスト	10		
	川下統合可能性	5		
	小計	70	64%	45
合計	350	65%	228	

コストリーダーシップ戦略	業界最安値価格	5	
	低コスト体質	5	
	粗利益率	5	
	設備投資	5	
	プロセス技術	10	
	流通コスト	10	
	資金力	5	
	資金調達力	5	
	システム完成度	10	
	コスト管理・体制	10	
	権限・責任	10	
	成果報酬制度	10	
合計	120	75%	90

差別化戦略	製品設計	0	
	ブランドイメージ	10	
	テクノロジー	0	
	製品特長	10	
	顧客サービス	10	
	流通ネットワーク	10	
	マーケティング能力	10	
	研究開発力	0	
	経歴値	10	
	想像力	10	
	人材システム	10	
	合計	110	73%

集中戦略	特定ターゲットへの投資	10	
	特定製品への投資	10	
	特定エリアへの投資	5	
	特定セグメントへの投資	10	
	合計	40	88%

■将来の検証&リスク分析	将来の脅威に対するリスクを見極める		
リスク分析	82.2%	KCR平均	61.4%

コスト・リーダーシップ戦略のリスク	他社による技術革新可能性	10	
	ライバル企業の低コスト化	10	
	製品の改良	10	
	マーケティングの改良	10	
	コストアップインフレの影響	0	
	合計	50	80%

差別化戦略のリスク	他社へのブランド指名買い	0	
	顧客ニーズの変化	10	
	模倣の乱発	10	
	合計	30	67%

集中戦略のリスク	コスト優位性の崩壊	10	
	特異ニーズの崩壊	10	
	特定ターゲットの細分化	10	
	合計	30	100%

■その他の定性要因	戦略とは別の要因をチェック		
	96.4%	KCR平均	91.2%

■経営トップ	経営スタンス	165	
合計	170	97%	165

■会社分析	本社・環境・社風	115	
合計	120	96%	115

KCR-定性分析レポートは、定性情報をKCR総研独自の132項目のマトリックス分析により数値化したもので、ポーターの競争戦略理論から企業の競争力を格付けしている。★が高いほど競争力があることを意味しており、定量情報では表れない企業の将来性を格付けしている。KCR平均の業界環境は、64.0%、戦略型78.9%、将来リスク61.4%、経営バランス91.1%、経営トップ他91.2%、定性総合評価75.9%。

■戦略性チェック分析	整合度、重点度、計画性、目的性の4視点から見極める		
経営バランス分析	90.0%	KCR平均	91.1%

整合性分析	外部環境と経営環境	10	
	全社戦略と事業戦略	10	
	経営戦略と経営諸機能	10	
	経営諸機能内	10	
	短期と将来	10	
合計	50	100%	50

重点性分析	事業領域・市場・製品	10	
	静態的経営資源の投入	10	
	動態的経営資源の投入	10	
	自社の強み	10	
	絞り込み	0	
合計	50	80%	40

計画性分析	目標への到達	10	
	長期視点での計画	5	
	短期計画と長期計画	5	
	下方修正	10	
	計画柔軟性	10	
合計	50	80%	40

目的性分析	戦略ドメイン	10	
	社是・経営理念、CSR	10	
	企業目的のステージ	10	
	企業目標と経営戦略	10	
	企業目標と従業員	10	
合計	50	100%	50

★の見方

戦略レベル		
極めて戦略的	80~100%	★★★★★
かなり戦略的	60~80%	★★★★★
戦略的	40~60%	★★★★
やや戦略に劣る	20~40%	★★★
戦略性に乏しい	0~20%	★

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)

Company profile table including code (7593), industry (小売業), market (東証1部), and financial metrics like revenue (売上高) and profit (利益).

Financial performance table with columns for revenue, profit, EPS, and various ratios for the period 16/03 to 19/03.

Table titled '達人の視点10項目評価スコア' (Expert's View 10-item Evaluation Score) showing scores for metrics like PBR, PER, and ROE.

Table titled '四半期分析' (Quarterly Analysis) showing quarterly revenue, profit, and other metrics from 1Q to 4Q.

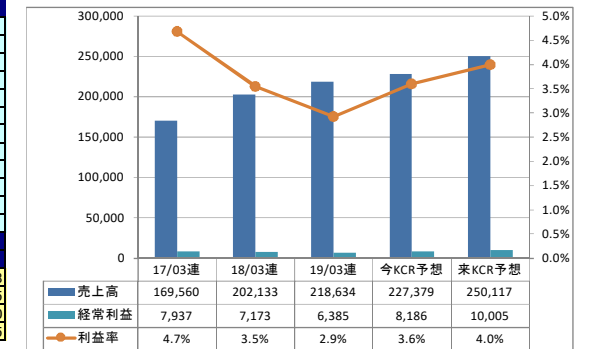


Table titled 'セグメント情報' (Segment Information) showing revenue and profit by segment for 18/03 and 19/03.

Large table titled '類似・競合平均値' (Similar/Competitor Average) comparing various financial ratios like ROA, ROE, and efficiency ratios against competitors.

Summary table titled '総合評価' (Overall Evaluation) showing a final score of 67.0% and a rating of 3.0.

財務Comments: KCR-定量分析レポートは、類似・競合会社との比較による財務分析に基づく格付レポートである。企業の収益性、効率性、安全性、成長性、生産性の5つの指標に加え...

Disclaimer text: このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておきますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。



VTホールディングス(株)				(7593 東証1部)連結	19/10/04	達人視点指数合計	
決算	3月	〒	460-0003	TEL	052-203-9500		13.1
住所	名古屋市中区錦3-10-32			代表者	高橋 一穂		KCR平均 12.8

【事業内容】 カーディラー専門。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

※予想は原則会社予想、アセットは直前期

資本金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	株価 (円)	株主持分 (百万円)	発行済株式数 (千株)	BPS (円)	営業CF (百万円)	投資CF (百万円)
4,297	30,545	437	37,455	119,381.0	319	13,654	-6,220
総資産 (百万円)	有利子負債 (百万円)	配当 (1株当り円)	配当性向	設立年月	5年内高値 (円)	5年内安値 (円)	高値騰落率 (%)
155,170	37,320	20	49.9%	1983年3月	870	340	-49.8
予想売上高 (百万円)	予想営業利益 (百万円)	予想税前利益 (百万円)	当期予想利益 (百万円)	予想EPS (円)	予想ROE (純利益率)	予想ROA (経常利益率)	自己資本比率
225,000	8,300	8,000	4,700	40.05	12.5%	5.2%	24.1%

■達人視点16項目

資利倍率 (倍)	PBR (倍)	予想PER (倍)	有利子負債依存度	配当利回り (%)	設立年数 (年)	安値騰落率 (%)	FCF (百万円)
7.1	1.4	10.9	24.1%	4.6	37	28.5	7,434
5.0	3.0	3.0	2.0	5.0	5.0	5.0	5.0
売上高経常利益率	業種	単純平均 (円)	発行済株式数 (換算・千株)	時価総額 (百万円)	悪材料	EPS	ROE
3.6%	小売業	43.7	1,193,810	52,170	増収増益	増加	12.5%
0.0	3.0	5.0	2.0	1.0	1.0	5.0	5.0

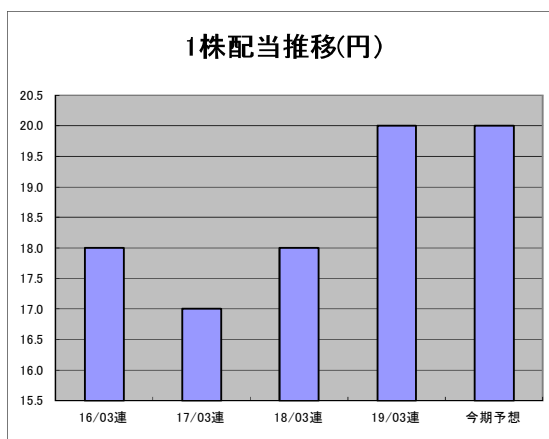
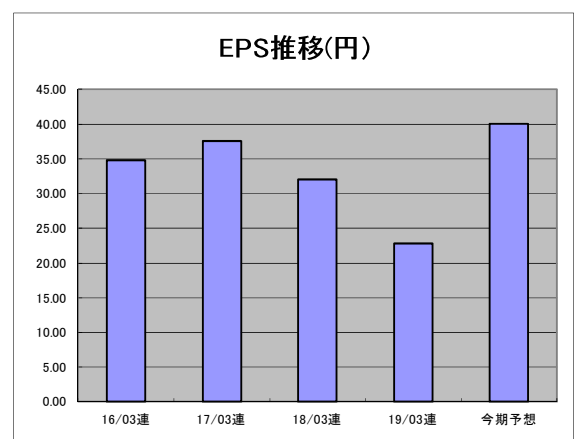
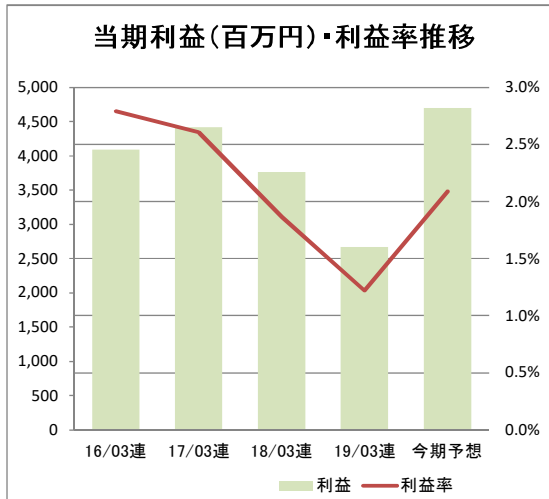
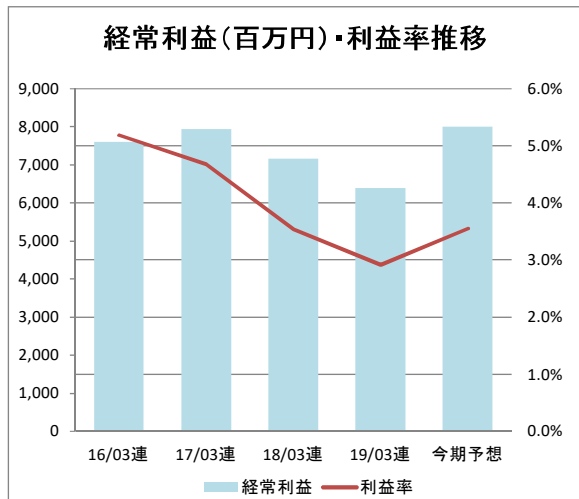
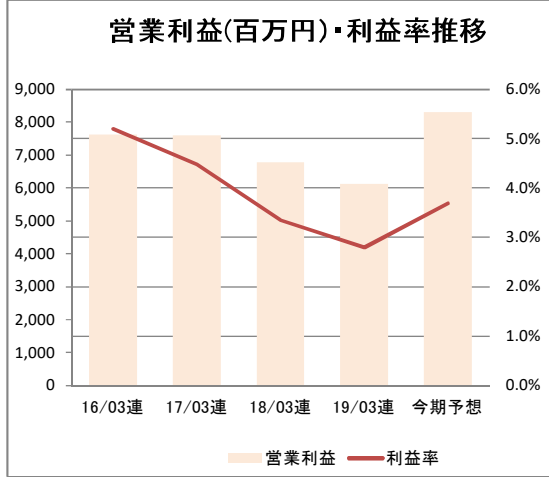
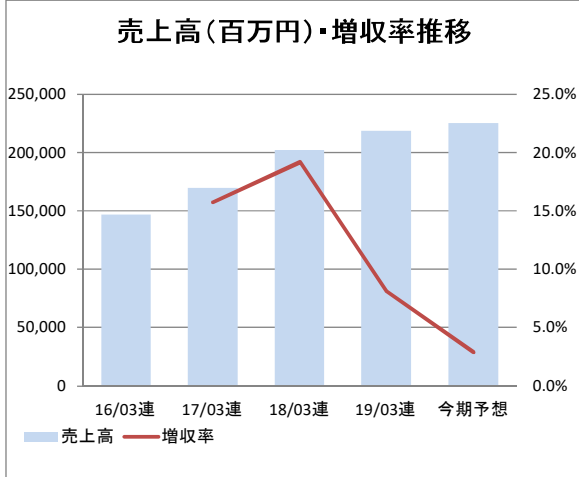
達人の視点	評点	格付	KCR平均	達人視点レーダーチャート	
達人Eの視点	2.9	★★★	2.9		
達人Tの視点	3.5	★★★★★	3.1		
達人Bの視点	3.3	★★★	2.9		
達人総合指数	3.4	★★★	3.2		

※本レポートの3人の達人は実在する投資家の視点をKCR総研が客観的に独自分析しているもので、実在の人物とは一切関係ないことにご留意ください。

レーティング	評点	達人E氏の視点	サラリーマンから株で資産30億円を築いた投資家の視点を分析。低位株投資・逆張り戦略などに特長がある。
★★★★★	4.5~5.0	達人T氏の視点	個人投資家として300億円の資産を株で築いた投資家の視点を分析。長期集中投資・配当重視などに特長がある。
★★★★	3.5~4.4	達人B氏の視点	株で5兆円を築いた世界的著名投資家の視点を分析。割安株バリュ投資、ROEなど収益面の指標重視に特長がある。
★★★	2.5~3.4		
★★	1.5~2.4		
★	0~1~1.4		

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

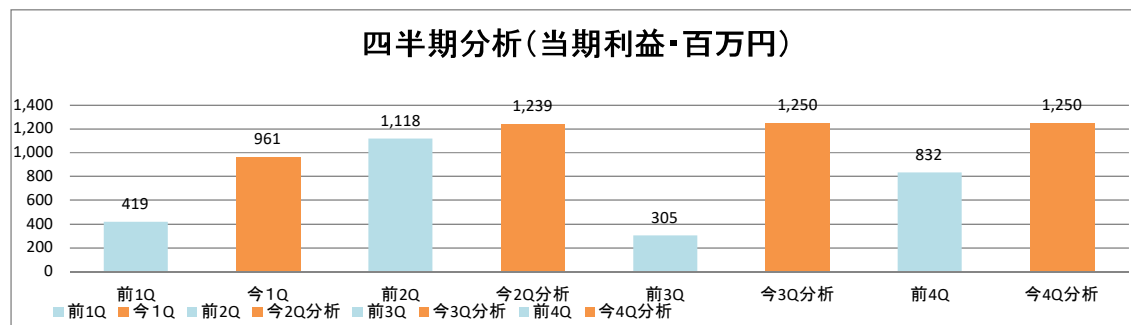
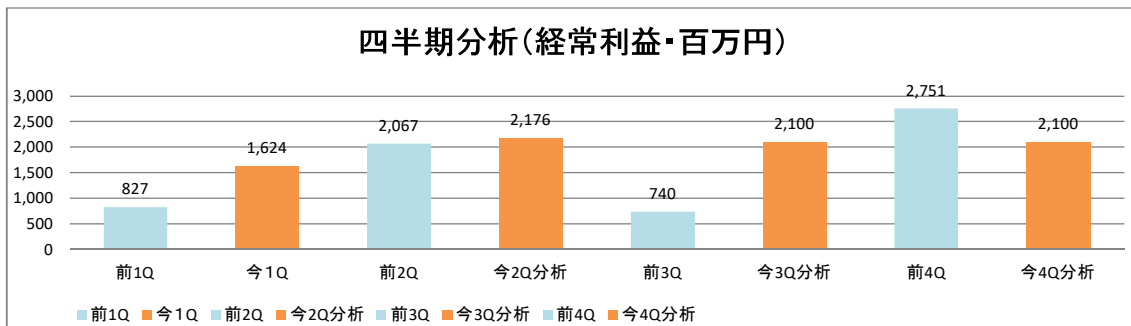
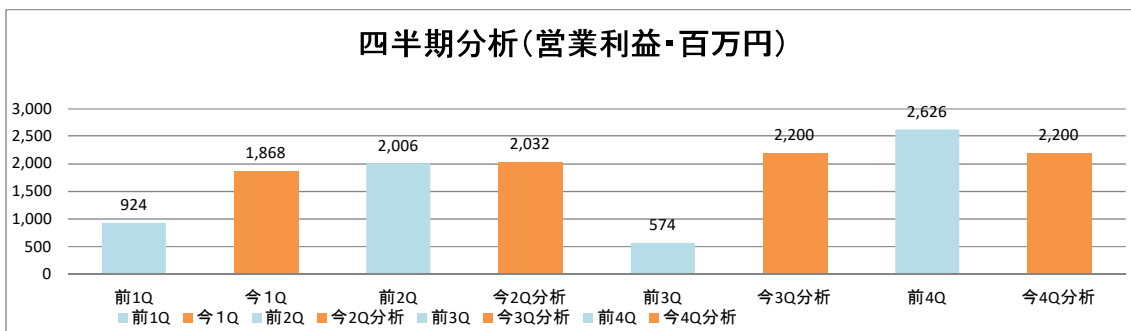
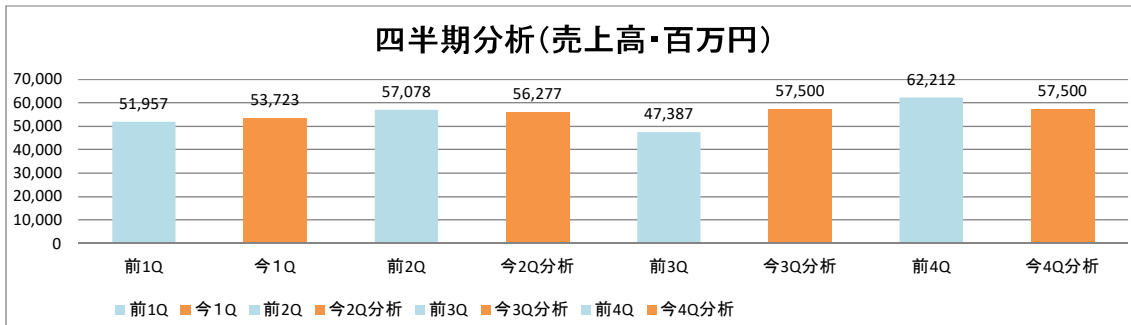
VTホールディングス(株)							(7593 東証1部)連結			
基本分析	売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利益率	利益	利益率	EPS	1株配当
16/03連	146,468		7,619	5.2%	7,603	5.2%	4,090	2.8%	34.77	18.0
17/03連	169,560	15.8%	7,592	4.5%	7,937	4.7%	4,421	2.6%	37.58	17.0
18/03連	202,133	19.2%	6,780	3.4%	7,173	3.5%	3,765	1.9%	32.00	18.0
19/03連	218,634	8.2%	6,130	2.8%	6,385	2.9%	2,674	1.2%	22.80	20.0
今期予想	225,000	2.9%	8,300	3.7%	8000	3.6%	4700	2.1%	40.05	20.0



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

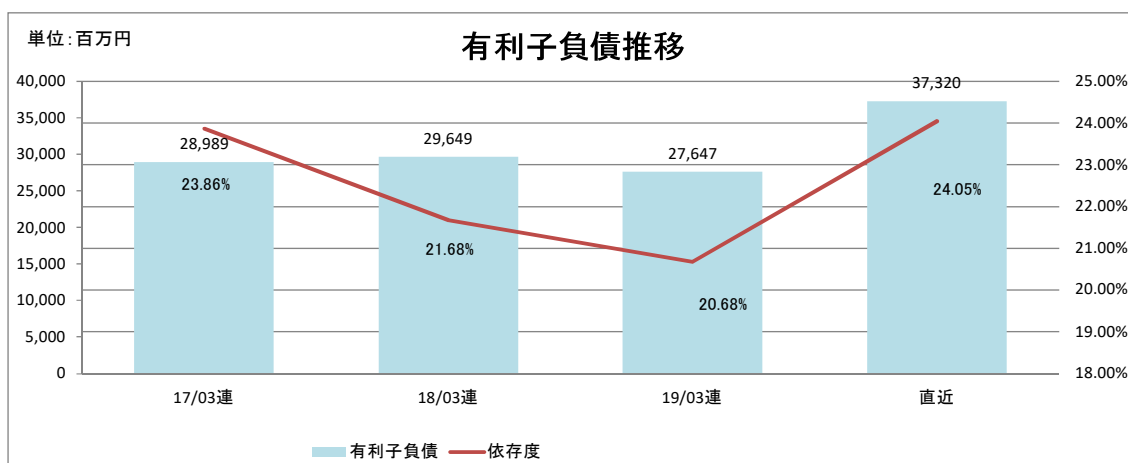
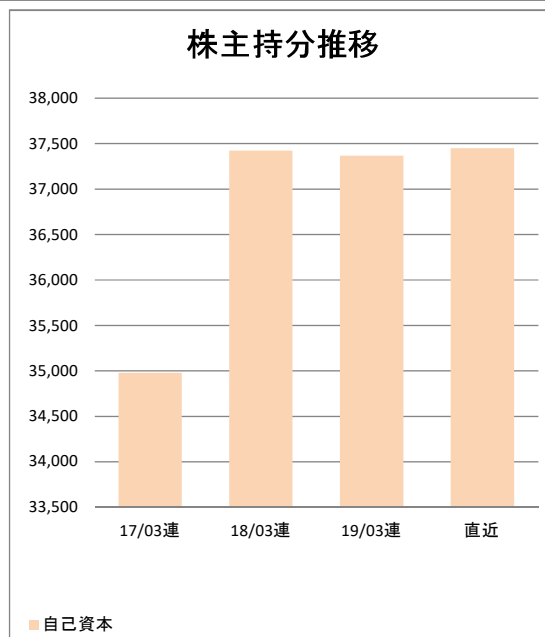
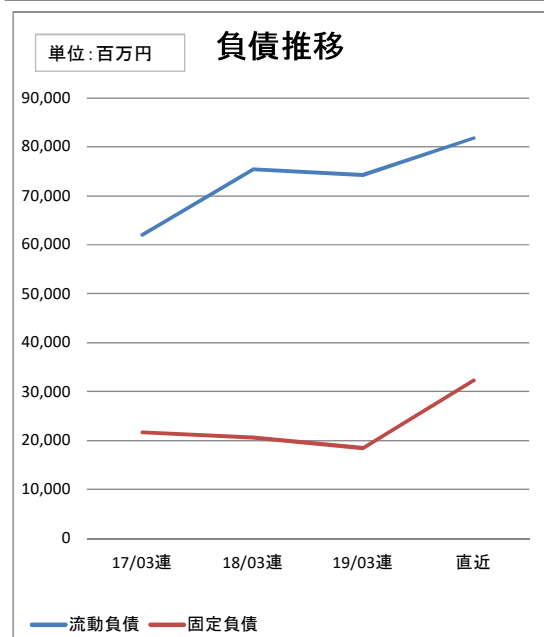
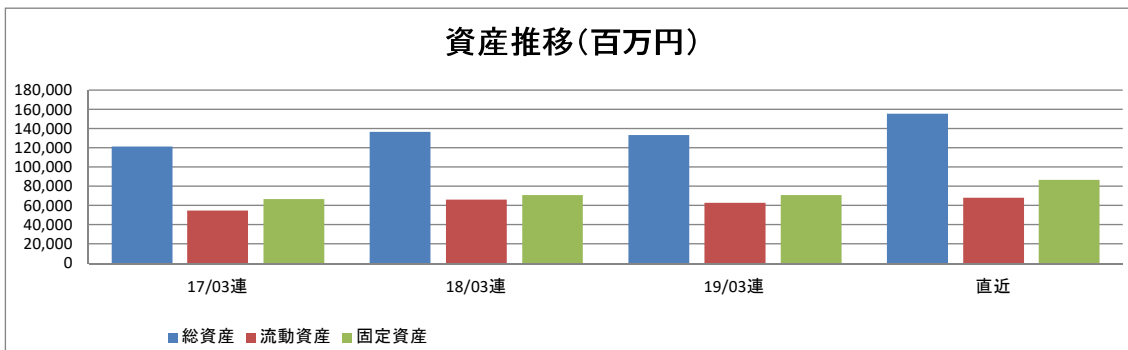
VTホールディングス(株)				(7593 東証1部) 連結				
四半期分析	売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利益率	当期純利益	利益率
前1Q	51,957	3.4%	924	1.8%	827	1.6%	419	0.8%
今1Q	53,723		1,868	3.5%	1,624	3.0%	961	1.8%
前2Q	57,078	-1.4%	2,006	3.5%	2,067	3.6%	1,118	2.0%
今2Q分析	56,277		2,032	3.6%	2,176	3.9%	1,239	2.2%
前3Q	47,387	21.3%	574	1.2%	740	1.6%	305	0.6%
今3Q分析	57,500		2,200	3.8%	2,100	3.7%	1,250	2.2%
前4Q	62,212	-7.6%	2,626	4.2%	2,751	4.4%	832	1.3%
今4Q分析	57,500		2,200	3.8%	2,100	3.7%	1,250	2.2%

※分析は、予想に基づき算出



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされまようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその従業員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)							(7593 東証1部)連結		
資産分析	総資産	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	自己資本	有利子負債	依存度	従業員数
17/03連	121,493	54,702	66,791	62,091	21,759	34,982	28,989	23.86%	3258
18/03連	136,757	66,103	70,653	75,369	20,637	37,425	29,649	21.68%	3445
19/03連	133,680	62,665	71,014	74,216	18,520	37,368	27,647	20.68%	3490
直近	155,170	68,162	87,008	81,798	32,339	37,455	37,320	24.05%	3,565



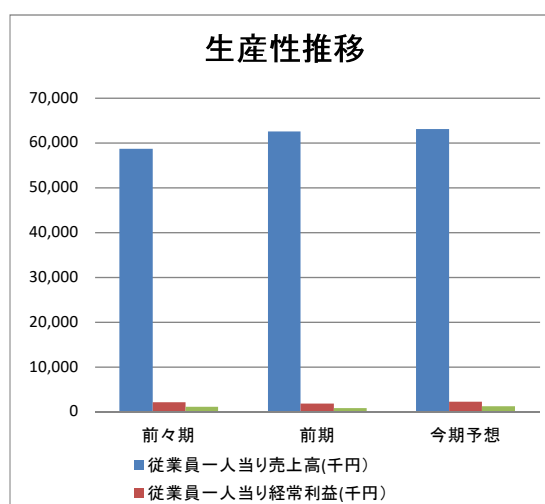
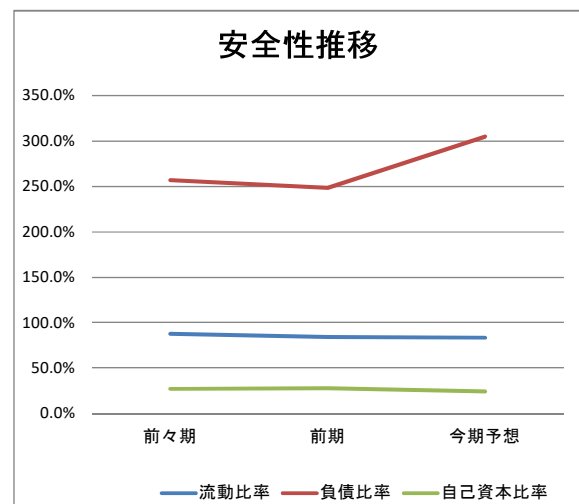
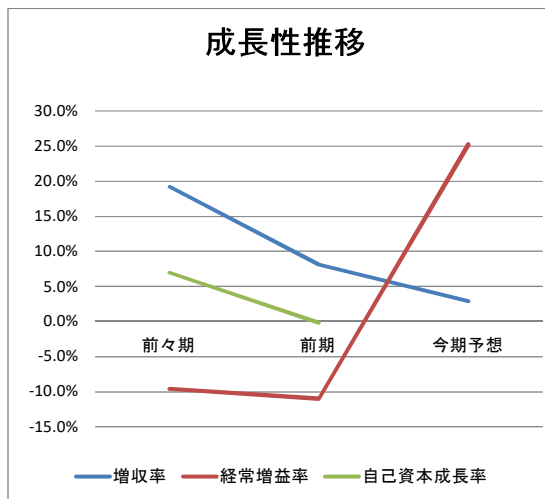
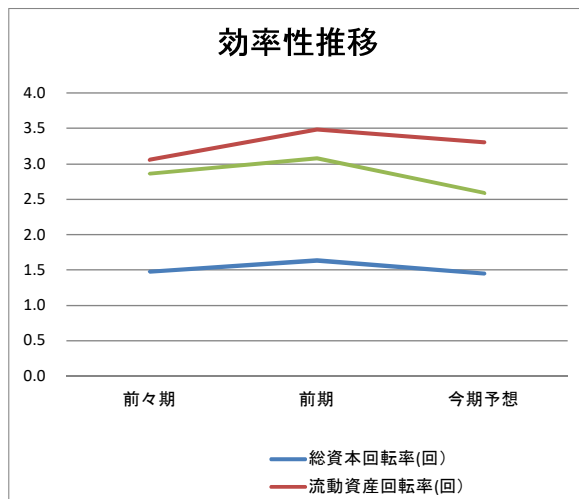
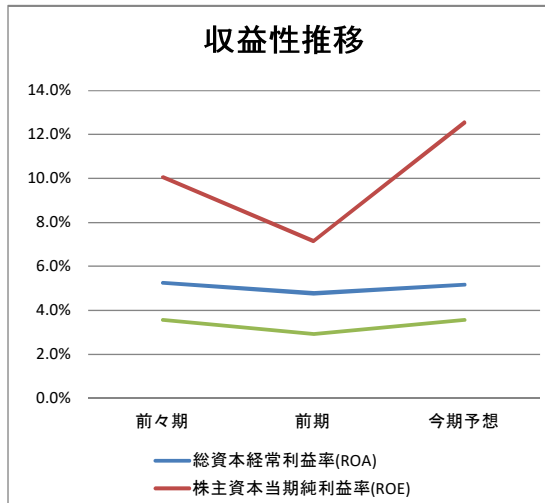
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承ください。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされまようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその従業員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

財務指標分析			
収益性			
総資本経常利益率(ROA)	前々期	前期	今期予想
	5.2%	4.8%	5.2%
株主資本当期純利益率(ROE)	10.1%	7.2%	12.5%
売上高経常利益率	3.5%	2.9%	3.6%
効率性			
総資本回転率(回)	前々期	前期	今期予想
	1.5	1.6	1.5
流動資産回転率(回)	3.1	3.5	3.3
固定資産回転率(回)	2.9	3.1	2.6
安全性			
流動比率	前々期	前期	直近
	87.7%	84.4%	83.3%
負債比率	256.5%	248.2%	304.7%
自己資本比率	27.4%	28.0%	24.1%
成長性			
増収率	前々期	前期	今期予想
	19.2%	8.2%	2.9%
経営増益率	-9.6%	-11.0%	25.3%
自己資本成長率	7.0%	-0.2%	
生産性			
従業員一人当り売上高(千円)	前々期	前期	今期予想
	58,674	62,646	63,114
従業員一人当り経常利益(千円)	2,082	1,830	2,244
従業員一人当り当期利益(千円)	1,093	766	1,318

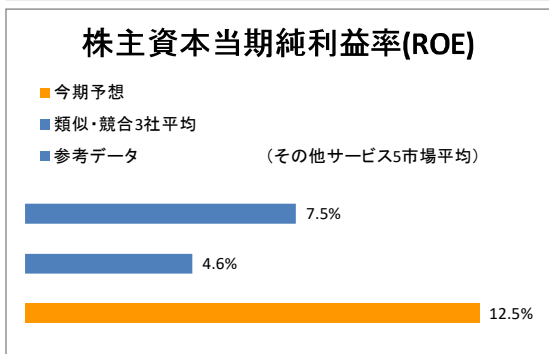
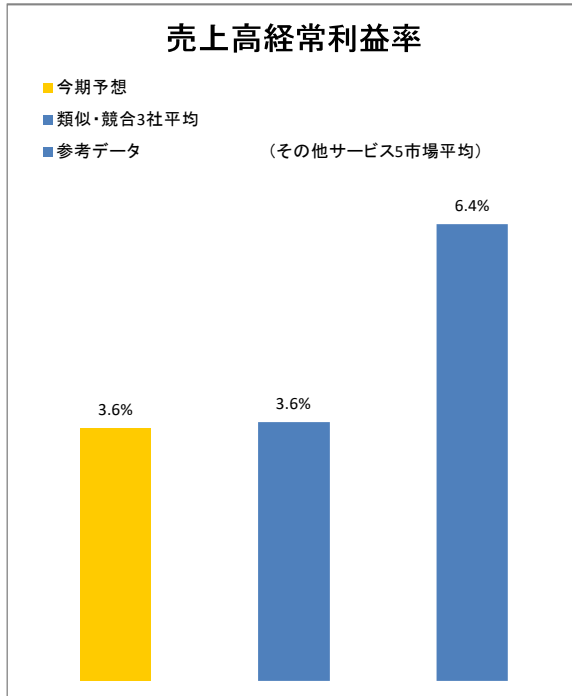
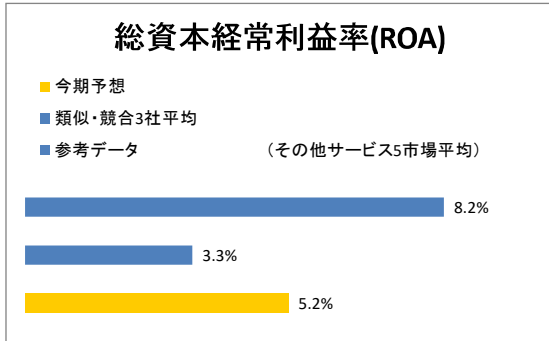
※アセットは原則直近値を用い一定として算定



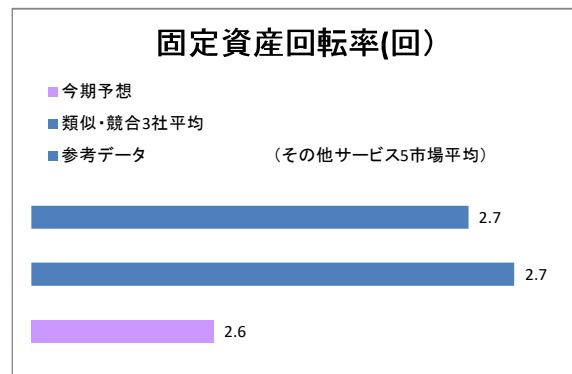
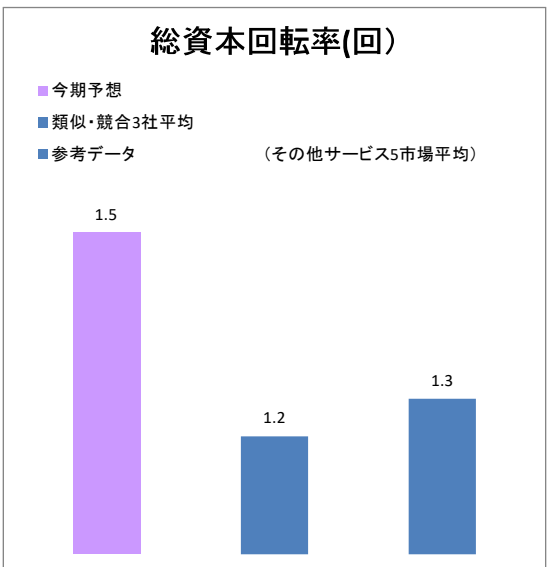
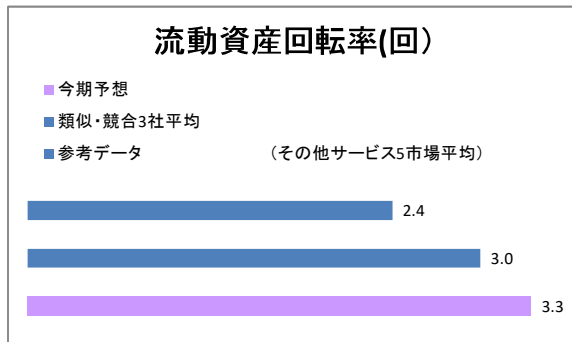
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承ください。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品については当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株) (7593 東証1部) 連結

収益性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他)	類似・競合3社
総資本経常利益率(ROA)	5.2%	3.3%	8.2%	日本電産(株)
株主資本当期純利益率(ROE)	12.5%	4.6%	7.5%	(株)IDOM
売上高経常利益率	3.6%	3.6%	6.4%	(株)コロワイド



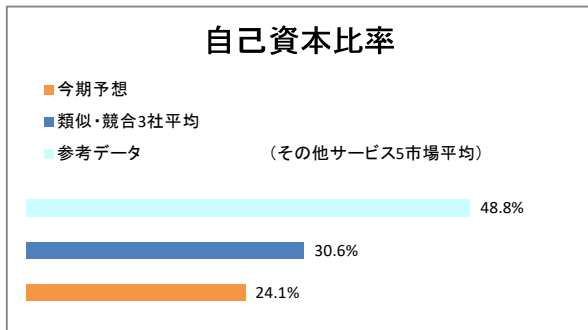
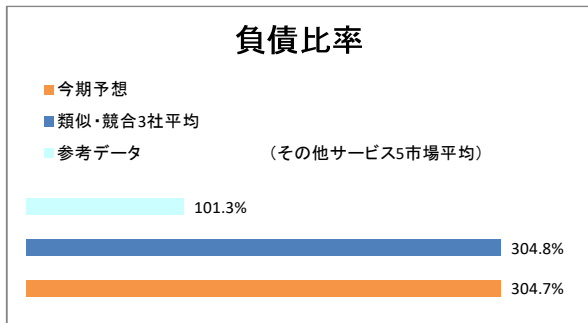
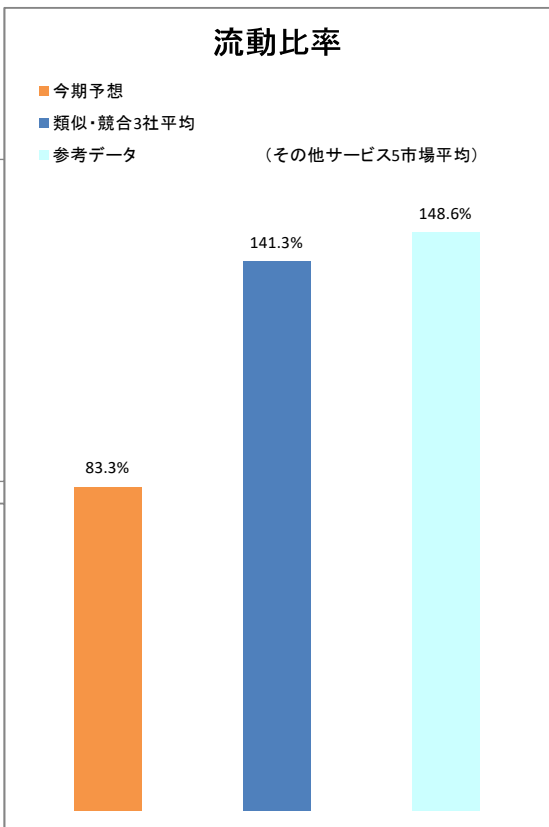
効率性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
総資本回転率(回)	1.5	1.2	1.3
流動資産回転率(回)	3.3	3.0	2.4
固定資産回転率(回)	2.6	2.7	2.7



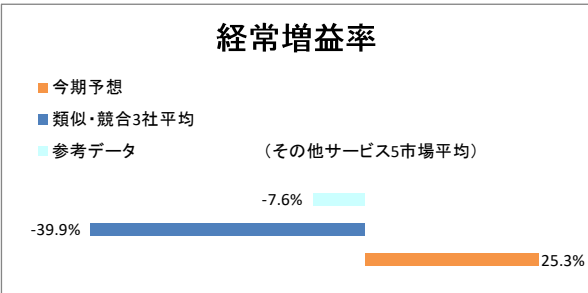
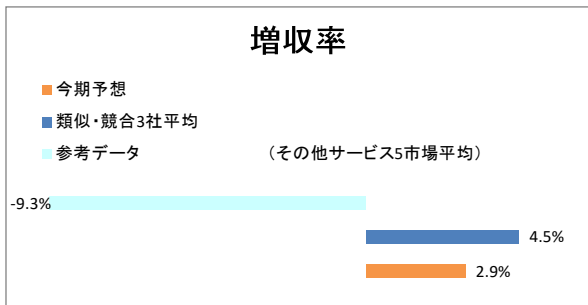
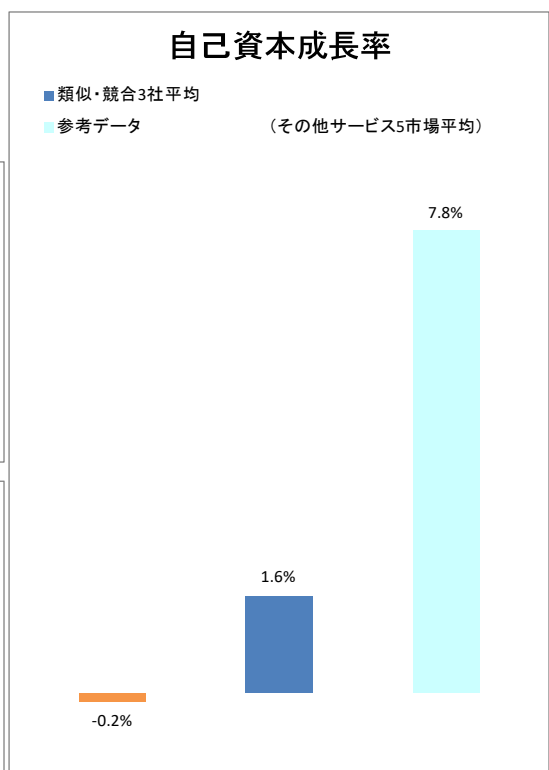
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりましたが、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品については当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株) (7593 東証1部)連結

安全性分析	直近	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
流動比率	83.3%	141.3%	148.6%
負債比率	304.7%	304.8%	101.3%
自己資本比率	24.1%	30.6%	48.8%



成長性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
増収率	2.9%	4.5%	-9.3%
経常増益率	25.3%	-39.9%	-7.6%
自己資本成長率	-0.2%	1.6%	7.8%

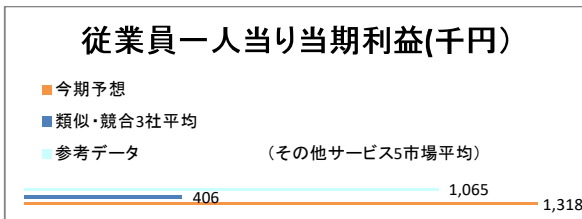
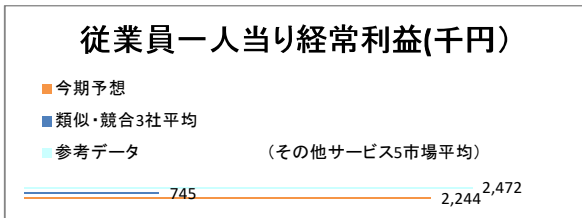
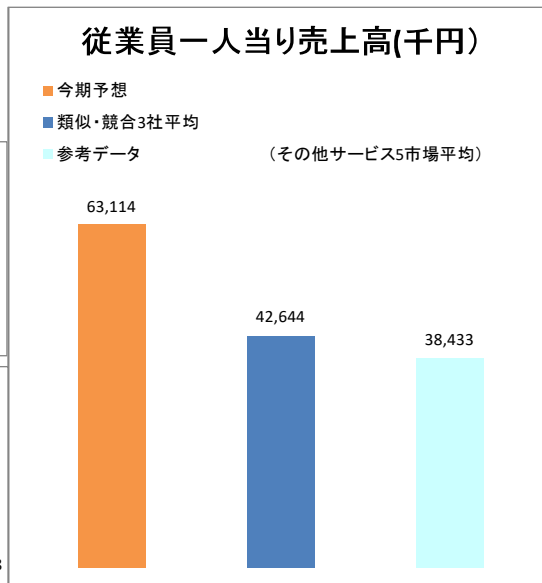


このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部) 連結

生産性分析	今期予想	類似・競合3社平均	参考データ (その他サービス5)
従業員一人当たり売上高(千円)	63,114	42,644	38,433
従業員一人当たり経常利益(千円)	2,244	745	2,472
従業員一人当たり当期利益(千円)	1,318	406	1,065

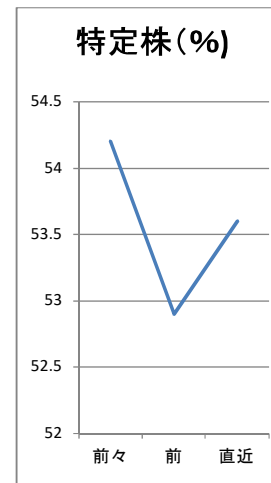
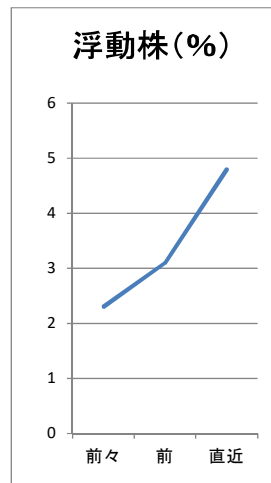
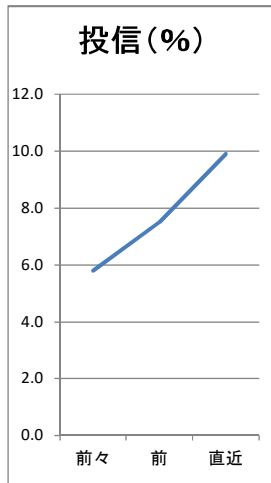
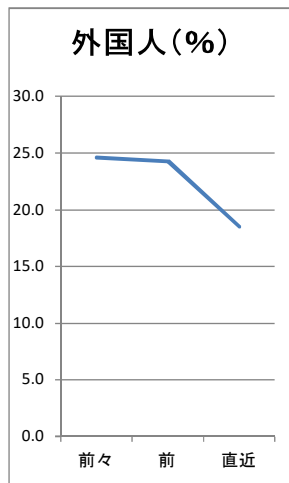
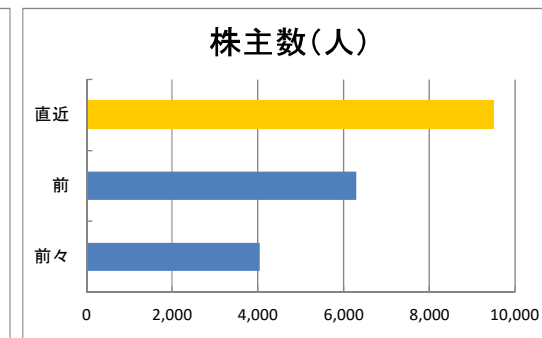
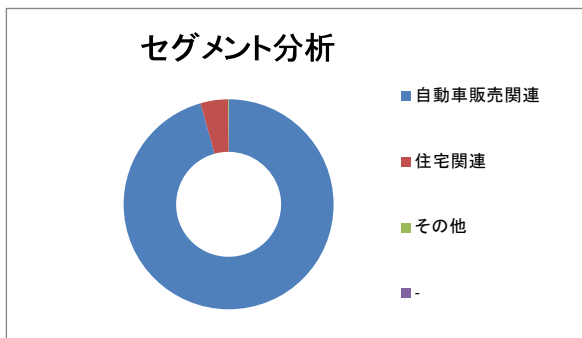


セグメント分析

セグメント	19/03連
自動車販売関連	95.6%
住宅関連	4.3%
その他	0.1%
-	0.0%
合計	100.0%

資本構成分析

	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)
	外国人	投信	浮動株	特定株	株主数
前々	24.6	5.8	2.3	54.2	4,034
前	24.3	7.5	3.1	52.9	6,299
直近	18.5	9.9	4.8	53.6	9,509



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその従業員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

IR総合判断

【コード】	7593	【業種】	小売業	【市場】	東証1部	【決算】	3月	【〒】	460-0003	【電話】	052-203-9500
【住所】	名古屋市中区錦3-10-32			【設立年月】	1983/03						
【代表者】	高橋 一穂			【開示責任者】	常務取締役管理部長 山内 一郎						
【事業内容】				【直近株価】	437円						

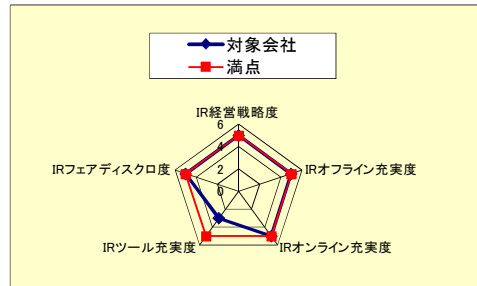
★★★★★

カーディラー専門。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

IR活動評価	参考データ	点数	VTホールディングス(株)
1、IR活動実施状況(10点)			
実施している	89.3%	10	10
2、IRの組織(10点)			
専任部署		10	8
総務部	24.0%	4	
企画部	23.0%	8	
広報部	17.0%	3	
財務部		5	
経理部		3	
社長室		6	
その他		2	
3、経営トップの姿勢(50点)			
経営トップによるIR活動をしているか	83.6%	50	50
実施している		10	10
その形態は			
トップが投資家向け説明会に参加	81.8%	10	10
トップがアナリストの個別取材を受ける	67.6%	30	30
4、IRコミュニケーション(80点)		80	70
決算説明会	77.7%	10	10
個別面談	32.6%	10	10
海外説明会	15.9%	10	0
誰に対して実施するのか			
アナリスト・機関投資家	37.7%	10	10
個人投資家	13.4%	10	10
開示姿勢はフェアに行われているか	重点項目	20	20
取材を受けるだけでなく投資家を訪問	50.0%	10	10
5、IRツール(20点)		30	20
株主通信	89.6%	10	10
英文資料(アニュアルレポート等)	42.8%	20	10
6、IRサイト(100点)		100	96
IRと明示されたサイトをもっているか	97.5%	10	10
トップメッセージ	79.4%	10	10
有価証券報告書	45.9%	10	10
決算短信	42.0%	10	10
決算短信	41.5%	10	10
月次報告・株主通信・決算説明資料	36.2%	10	6
説明会情報	28.5%	10	10
動画	23.8%	10	10
メールマガジン	19.5%	10	10
FAQ(よくある質問への回答)	14.6%	10	10
英文版IRサイト	19.4%	10	10
7、IR効果測定(10点)			
している	84.3%	10	10
8、IR年間費用(10点)			
500万円以上～	24.0%	10	10

合計 300 274

※採点判断については、フェアディスクロージャーに重点を置きヒアリング及び客観的評価によってKCR総研独自の判断基準を用いています。



	KCR平均	200.7	★の見方
総合評価	91.3%	66.5%	非常に良い270～★★★★★
IR経営戦略度	96.0%	64.0%	良い230～★★★★★
IRオンライン充実度	91.7%	66.9%	普通180～★★★★
IRオンライン充実度	96.0%	67.8%	やや劣る130～★★★
IRツール充実度	66.7%	45.5%	非常に劣る80～★
IRフェアディスクロ度	100.0%	64.7%	問題あり0～-

IR戦略分析レポートとは、当該企業のIRオンライン活動、オフライン活動、IRツール充実度、IRサイト充実度、IR経営戦略レベルの5つの視点から客観的に分析・評価されたレポートであり、KCR総研では企業のIRへの戦略的取組みが株価パフォーマンスに大きな影響を与えることから格付している。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされまようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

KCR総研のレーティングシステム

個別企業

- +1 または Strong Buy = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を20%以上上回ると判断する場合
- +2 または Buy = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を10%以上上回ると判断する場合
- +3 または Neutral = 当該銘柄の12カ月間の目標株価と現在の株価の差が+10%~-10%未満の範囲内にあると判断する場合
- +4 または Sell = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を-10%以上下回ると判断する場合
- +5 または Strong Sell = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を-20%以上下回ると判断する場合

レーティング変更 (Changed) = 決算状況や、市況変動・環境の変化等により、レーティングおよび目標株価を変更する場合

レーティング停止 (Suspended) = 法令や、社内規定により、一時的にレーティングおよび目標株価を停止する場合

NR・未付与 = KCRのレギュラーカバーの対象ではありません

- ★★★★★ = 当該企業の買いを強く推奨する
- ★★★★ = 当該企業の買いを推奨する
- ★★★ = 当該企業の買い持ち・売り持ち (中立) を推奨する
- ★★ = 当該企業の売りを推奨する
- ★ = 当該企業の売りを強く推奨する

セクター

- 強気 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が強気の場合、あるいは我々のカバー銘柄の投資判断の加重平均が強気の場合
- 中立 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が中立の場合、あるいは我々のカバー銘柄の投資判断の加重平均が中立の場合
- 弱気 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が弱気の場合、あるいは我々のカバー銘柄の投資判断の加重平均が弱気の場合

※レーティングの見方 ※レーティング有効期間: 12ヶ月

レーティング	総合評価指数		
+1 Strong Buy	80%~100%~	1年以内に+20%以上のアウトパフォームが予想される銘柄	★★★★★
+2 Buy	60%~80%~	1年以内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄	★★★★
+3 Neutral	40%~60%~	1年以内に+10%~-10%の相対パフォーマンスが予想される銘柄	★★★
+4 Sell	20%~40%~	1年以内に-10%~のアンダーパフォームが予想される銘柄	★★
+5 Strong Sell	~0%~20%~	1年以内に-20%以上のアンダーパフォームが予想される銘柄	★

KCR総研の目標株価

個別銘柄のレーティングは、マネジメントによる一定の裁量の下、「(目標株価-現在の株価)/現在の株価」で定義される目標株価まで株価が上昇あるいは下落する潜在的余地に基づいて付与されます。多くの場合、目標株価は12カ月後の潜在バリュエーション、すなわち割引キャッシュフロー (DCF) 法やその他のバリュエーション手法を組み合わせて算出される当該銘柄の適正投資価値と等しくなります。

アナリストがレポートにおいて企業の目標株価に言及した場合、その目標株価はアナリストによる当該企業の業績予想に基づくものです。実際の株価は、当該企業の業績動向や、当該企業に関する市場や経済環境などのリスク要因により、目標株価に達しない可能性があります。

目標株価とレーティングは、それぞれの企業のレポートが発行された日現在のものです。このレポートの発行日のものとは限りません。それぞれ最近発行されたレポートをご覧ください。KCR総研の継続フォローカバーに含まれていない銘柄の目標株価、レーティングは表示しません。

アナリスト証明

表紙に名前を記載されているアナリストは、レポートに記述されている全ての見方が各自のここで議論した全ての証券や発行企業に対する各自の見方を正確に反映していることを保証いたします。さらに、表紙に名前を記載されているアナリストは、各自の報酬が、直接的あるいは間接的にこのレポートで議論した推奨や見方によって、現在、過去、未来にわたって一切影響を受けないこと、ならびに、KCRグループ企業が行ったいかなるコンサルティング案件とも関係ないことを保証いたします。

利益相反に関する開示事項

KCR総研は、契約に基づき有償にて個別企業のIRコンサルティング及びIR支援サービスを実施しております。KCR総研が過去・現在においてサービスを提供している会社につきましては、<http://www.ir-channel.jp/event/>に掲載されている企業をご参照ください。本件につき情報が必要な方はKCR総研調査部管理係り (TEL: 06-6965-6100) までお問い合わせください。

本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。表紙に名前を記載されているアナリストは本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。KCRグループの系列投資顧問会社である北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社 (近畿財務局長 (金商) 第66号) (社団法人日本証券投資顧問業協会会員番号022-00252) は本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第1号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第2号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組合員である北浜IRファンド第3号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しておりません。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。